



NO.4 1

4月^{がつ}から5月^{がつころ}頃、うす^{みどりいろ}緑^{ちい}色の小^{はな}さな花
を咲^さかせます。花^{はな}の^{あと}後^{きゅうけい}に球^{かじつ}形^{たいへんあま}の果^{たいへんあま}実^{たいへんあま}を
つけ^{たいへんあま}ますが、大^{たいへんあま}変^{たいへんあま}甘^{たいへんあま}くムクドリ^{たいへんあま}などが
食^たべ^たに^{せいちょう}き^{せいちょう}ます。成^{せいちょう}長^{せいちょう}が^{せいちょう}は^{せいちょう}や^{せいちょう}く、大^{たいほく}木^{たいほく}に
な^{おお}る^{おお}もの^{おお}が^{おお}多^{おお}いた^{おお}め、天^{てんねん}然^{きねん}記^{んぶつ}念^き物^きに
指^{してい}定^{してい}さ^{してい}れる^きこ^きとも^きあ^きり^きま^きす。こ^きの^き木^きの
名^{なまえ}前^{なまえ}が、名^{みょうじ}字^{みょうじ}に^{つか}使^{つか}わ^{つか}れる^{ひと}人^{ひと}も^{ひと}い^{ひと}ま^{ひと}す。

ムクノキ



NO.4 2

この木の果実は、中に一個の黒い種子
を含んでいます。種子はとても堅く、
よく弾むので羽子板の羽のおもりとし
て利用されたり、また、煎って食べた
りすることもできるそうです。水を
泡立てるはたらきがあり、洗濯などに
利用されてきました。

ムクロジ



NO.43

は ^{ふか}き ^ここみ ^{いちどみ}が ^{あって}、一度見
ると ^{わす}れない ^{ほど}印象 ^{いんしょう}的 ^{てき}な ^{かたち}形 ^{をして}
います。ブナ科 ^かの ^{らくようこうぼく}落葉 ^{まるがた}高木 ^で、丸型 ^の
ドングリ ^が ^{べつめい}できます。別 ^な名 ^{あめりか}アメリ ^かカ
シワ ^{など} ^よとも ^よ呼 ^{なまえ}ば ^れて ^います。名 ^の前 ^の
^{いちぶ}一部 ^に「^{ピン}」 ^{ことば} ^{つか}という ^が言 ^われ ^て
い ^ます ^が、^{ぼくじょう}牧 ^{くわい}場 ^の杭 ^の ^{こと} ^だ ^そう ^ず ^です。

ピンオーク



NO.44

バラ科の落葉高木で、果実はお酒に漬
けたりします。この果実に含まれる
成分がせきやたんなど喉の炎症にき
くとされ、のど飴に配合されています。
マルメロという言い方をすることもあり
ます。

カリン



NO.45

タゴの木に似ていることから、この木の名前がついていますが、別名「ナンジャモンジャ」とも言います。「何という木か?」というところから来ているそうです。5月上旬、葉がしげると同時にプロペラのような花が咲きます。

ヒトツバタゴ

(ナンジャモンジャ)



NO.46

にわき がいろじゅ こうえん などによく植えら
れていきます。漢字で「楓」と書きます
が「カエデ」とは異なります。葉は7
~15 センチメートル で3つに分かれていま
す。原産地は台湾で、日本には江戸時代
に入ってきました。この木の樹脂は
やくよう にもなるそうです。

フウ



NO.47

高さ15^{メートル} M から20^{メートル} M にもなる

高木で、幹は成長すると縦の切れ目が

入ります。葉は、先がとがり、上半分だ

けざざざしています。葉の裏側が

赤銅色をしているので、見分けやすい

です。秋には1~1.5^{センチメートル} cm ほどの

どんぐりができます。

スタジイ



NO.48

えどじだい くろしろ なんほう
江戸時代、黒潮によって南方から

やまぐちけん ながとし せんざき ひょうちやく たね
山口県長門市仙崎に漂着した種が

きげん やまぐちけん
起源とされています。そのため、山口県

とく はぎし さいばい きいろ
特に萩市で栽培がさかんです。黄色い

かじつ なつ さんみ へ しょくよう
果実は、夏ころに酸味が減って食用に

なります。 するど
鋭いトゲがあります。

ナツミカン



NO.49

みき すいちよく じゅこう メートル
幹は垂直にのびて、樹高が10Mほ

どもなります。葉の先が扇のように

ひら くまで は
開いて、熊手のような葉をつけます。

みき まわ せんいしつ
幹の周りは繊維質におおわれていて、

むかし なわ しきもの りよう
昔から縄、敷物、ホウキなどに利用さ

れてきました。

シユロ



NO.50

にわき
庭木などのほか、食用としても利用さ
れていきます。初夏に赤い花が咲き、秋に
じゆく かた かわ
熟すと硬い皮がさけて、赤い粒が無数
あか つぶ むすう
にあられます。この粒の一つ一つに
たね かじゅう
種が入っています。果汁をジュースに
かわ くすり りよう
したり、皮は薬として利用されてきま
した。

ザクワ